

## 《はじめに》

昨今、大学経営を取り巻く課題が輻輳している。少子高齢化、外部評価、透明性等様々な課題をクリアすることが今後の教育機関には求められる。本件は、上記を取り巻く課題に加え、新たな有為な女性育成のための施設を提案する。

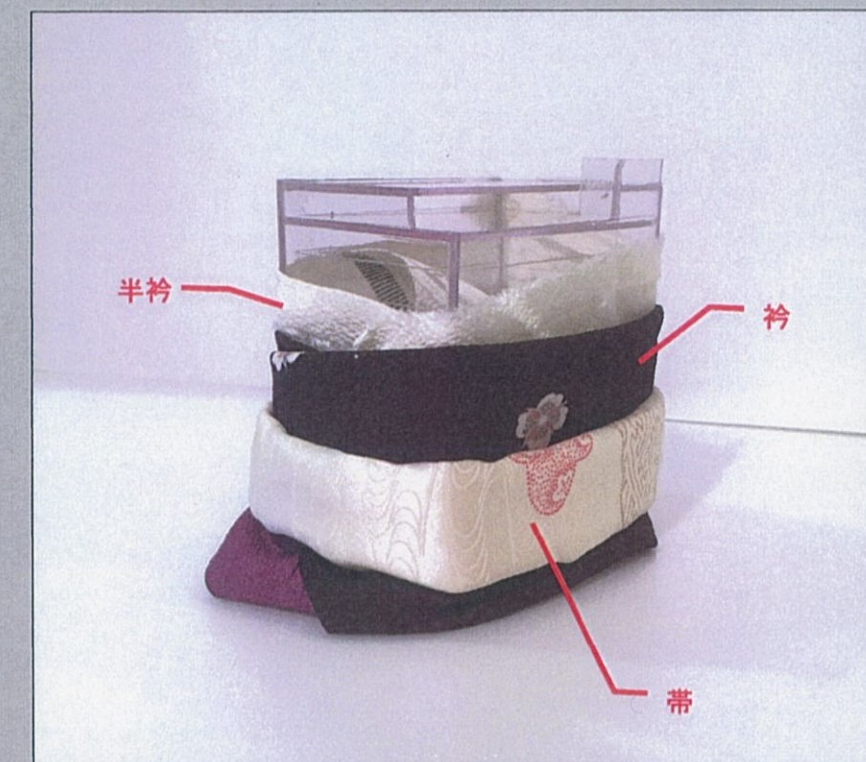
## 《構想》

- ① 建学の精神『高い知性、善美な情操、高雅な徳性を兼ね備えた有為な女性の育成』
- ② 少子高齢化、人口減少に伴う学生の確保。  
地域住民、多世代学生の受け入れ。積極的な海外留学生の受け入れを想定し  
日本らしいデザインで広告塔となるとともに、地域に根付いた施設となるよう配慮。

日本の伝統的美風であり、女性の象徴である『着物』をイメージ。

日本の伝統的画法『鈎勒』の作法を取り入れ『輪郭』を表現。

## 《イメージ》



## 《デザイン》

外装材には多数の硝子を採用し、半衿、着物、衿、帯を表現。

衿、帯を女性らしい柔らかい曲線とし、透過性の高いガラスを採用し夜間には内部の木漏れ日により輪郭を強調する。

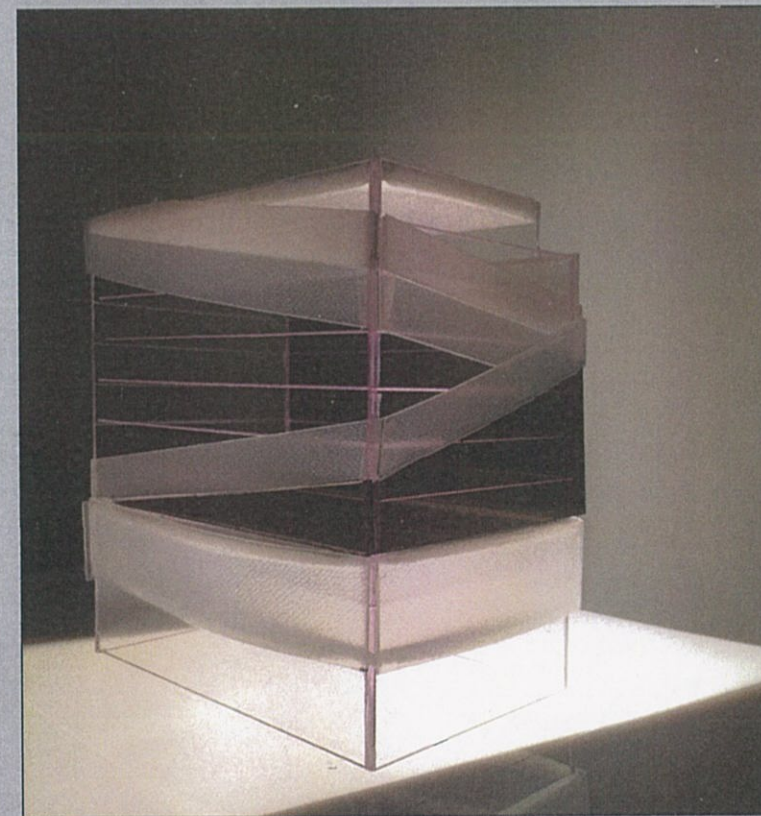
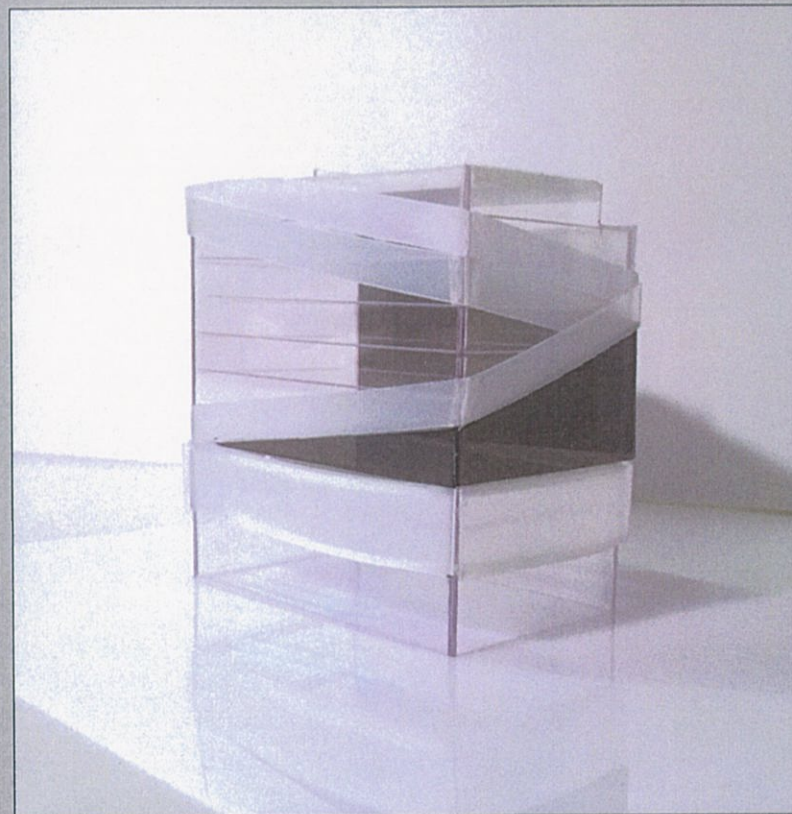
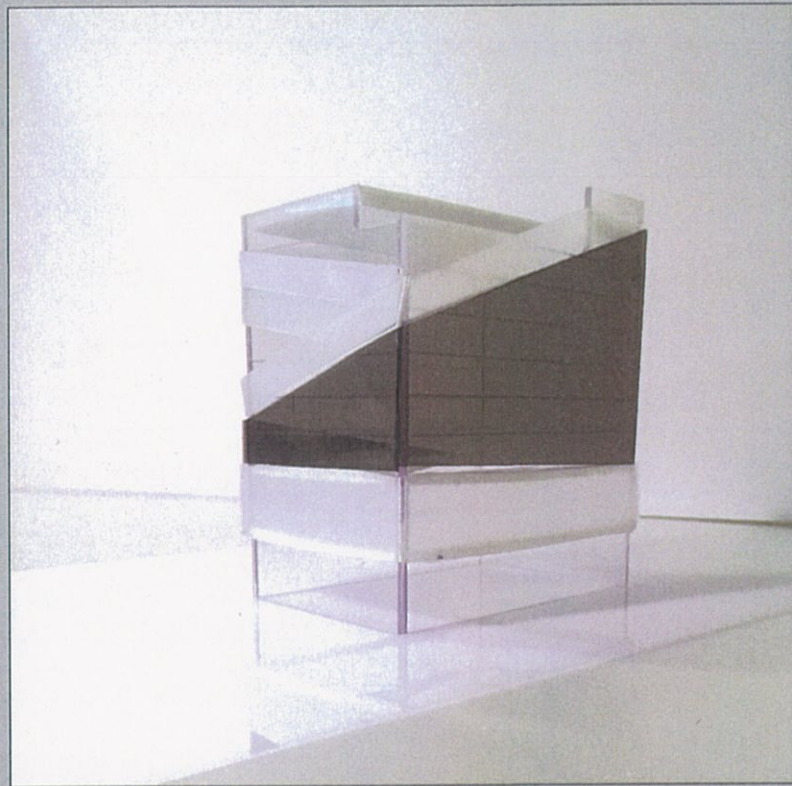
衿の上部は、乳白硝子を採用し半衿の上品さを表現。

主要部分は透過性低いガラス（LOW-E）を採用し、日中は内部環境に配慮。夜間はプロジェクションマッピングを用い季節や天気等を描写する。四季折々の着物を表現。

透明感のあるファサードとする事で、周辺環境に溶け込んだ施設となるとともに、夜間には模様を描写することで、地域のシンボルとなるよう計画。



《イメージ模型》



《プロジェクションマッピングイメージ》

